

X
EX ECUTE
EX PLORE
E FFECT
EX CELLENT
EX PERT

2015 - DECEMBER -

12 月号

EXE TIMES

そのうちなんとか…
なるワケない！

EXE のホームページアドレス

<http://www.exe-ac.jp>

検 索

2015
2016

冬期講習 SCHEDULE

* 初日にオリエンテーションを兼ねて、「学習のガイダンス」を実施します。

★ 講習テスト日
(テスト時間帯は後日お知らせします。)
(講習テスト日は変更になる場合があります。)

赤塚校 那珂校	受講時間	教科	期間	受講時間数	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7	8	9
小5・6生	9:30～11:30	2教科	6日間	12時間	①*	休 講 日		②	③	④			休 講 日	休 講 日				⑤		☆		
中1・2生	18:00～21:00	5教科	10日間	30.5時間	①*		②	③		④	⑤	⑥					⑦	⑧	⑨		☆	☆
中3生	12:15～16:45	5教科	13日間	60.2時間	①		②	③	④	⑤	⑥	⑦			⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	☆		

東海校	受講時間	教科	期間	受講時間数	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1/1	2	3	4	5	6	7	8	9
小5・6生	9:30～11:30	2教科	6日間	12時間	①*	休 講 日		②	③	④			休 講 日	休 講 日				⑤		☆		
中1・2生	中1生 17:00～19:20/中2生 19:35～21:55	5教科	11日間	26.8時間	①*		②	③	④	⑤	⑥	⑦					⑧	⑨	⑩			☆
中3生	12:00～16:40	5教科	13日間	60.2時間	①		②	③	④	⑤	⑥	⑦			⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	☆		

《小6 スタートダッシュ講座》 小学校の学習内容にケリをつけろ！

冬期講習
から
スタート！

「中学準備講座」ですが、中学の学習内容を先取りするわけではありません

中学生になって学習で伸び悩んでいる生徒さんの多くは、共通点が見受けられます。一つは小学生の時の基本的な理解・知識が形成されていない生徒さん、もう一つは勉強のやり方が分かっていない生徒さんです。

「小学生の時はデキただけど…」という言葉をよく耳にしますが、小学校の頃はテストも簡単ですし、あまりしっかり理解できていなくても、その時々でちょっとやり方を覚えておけばデキてしまうことが多いのです。知識や理解についても、しっかり身につけているかどうかよりも、調べ学習を真面目にやったかどうかが大事になります。ですから、学習の基礎が形成されることを期待しがたいのは事実です。

また、まだ詳細が決まっていますがはっきりしたことは分かりませんが、2020年度（現中1生が高3生になるとき）から大学入試制度が大きく変わる見通しが明らかになりました。共通一次試験から数えると40年以上続いたことになるセンター入試が廃止されることはほぼ決定していますので、大学入試の大きな転換期を迎えることだけは確かです。新しい制度では「知識の活用力」が叫ばれていますが、より確かな基礎学力がなければ「活用力」も絵に描いた餅となることも想像に難くありません。

学習の基本は、「覚えることは覚える、理解することは理解する」です。こうした学習の基本的な姿勢は、その時々の制度や流行に決してかき消されてしまうようなものではないと確信しています。

小5・6生 《冬期講習》

全6日（12時間）
小5・6生
9:30～11:30

※ 小学生は**2教科必修**です。

小6 《3学期スタートダッシュ講座》

講座	SD3科講座	SD5科講座	SD英語講座
受講科目	算・国・英	算・国・英・理・社	英語
通塾回数	2回/週	3回/週	1回/週
通塾曜日/教科	月・木 算国 or 算英	月・木・土 算国 or 算英・理社	月 or 木 英語
教材費	3,240円	6,480円	無料
授業料	12,960円	19,440円	4,860円
時間帯	【月・木】17:00～18:50 【土】16:00～18:00		

未来の受験生である中1・2生の保護者様へ

中2生は年が明けると、私立高校入試まで1年となります。いよいよ受験生というわけです。そうはいっても、まだ生徒さんにそうした自覚があるわけではありません。まして中1生の生徒さんとなると推して知るべし、です。

「うちの子はまだ意識が低くて…」「部活が忙しくて、なかなか勉強が…」「まだ受験とか志望校とか、そういう段階じゃないの…」「まだ夢とか、目標とか、なりたいものも無いようで…」「うちの子は成績が悪いから…」逆に「学校のテストはそこそこ成績がいいからまだ…」と、様々なお声をたくさんいただいています。安心してください。どこのご家庭でもこうした悩みを抱えていらっしゃると思います。意識が高く、将来の目標をもって勉強している生徒さんの方がむしろレアケースです。勘違いしてほしくないのは、今の時点で成績が良いことも、あるいは成績が振るわないこともこのことは関係ないということです。

これまで**EXE**から巣立っていった受験生を振り返ってみると、受験だからと言ってある時期を境に急激に受験生に変身したわけではありません。山あり谷あり、紆余曲折です。成績の良し悪しに関係なく、大人が何度も何度も諭しながら接していくうちに少しずつ意識が変化し、自覚が芽生えてくるものです。

怖いのはボタンの掛け違いです。放っておいても事態が変化することはありません。これくらいはまだいいか、そのうちなんとか…なるでしょう、とか考えてしまいがちですが、残念ながら…です。

大切なことは二つ。

- ・早い段階から受験を意識させた学習に向わせること
- ・今の時点で成績が良いこと、あるいは振るわないことは、勉強しなくていい理由にはならないこと

先ほど申し上げた通り、山あり谷あり紆余曲折ですから、どの段階の生徒さんも受験に向う姿勢はなかなか定着しません。そのためには、じっくりと時間をかけて意識を盛り上げてあげなければならないのです。結果として、そこそこの学校の成績がいいからと言って慢心している生徒さんとは、学習の質・姿勢ともに安定感が違ってきます。時間をかけて熟成したものは、そう簡単に崩れるものではありません。受験で自分より成績の良いと思っていた生徒さんでも失敗することが多々ある、というのはこうした理由です。こうした意識の熟成は、学習の継続から育まれるものです。つまり「意識が芽生えたから勉強するようになるのではなく、学習が継続されるから意識が変化していくのだ」と言えます。

今講習が、生徒さんにとっての一つの大事な契機である時間を紡ぎだすことができるよう、**EXE**講師一同全力で生徒さんと向き合っていきたいと考えています。

そのうちなんとか… なるワケない！

中3生の保護者様へ

受験生である中3生はこの冬に佳境を迎えます。

生徒さんにはこの時期、「常に進歩を信じて、少しでも、たとえ一つでも、より良い状況に自分を持っていく気持ちに正面から向き合ってほしい」と伝えております。現状がどうあれ、少しでも諦めの気持ちがそこに介するだけで、置かれている状況を変化させることはないでしょう。この時期に勉強していない **EXE** 生はまずいけません。真面目にやっているから大丈夫と考えるのも諦めと同様に現状肯定であり、自らを窮地に追い込みかねません。求められるのは大人しく授業を受けることでも、真面目さでもなく、正面から突き進み物事に取り組む真剣さです。一見同じように勉強しているかのように見えても、その真剣さは学習の質を高め、そして己の足らなさを気付かせてくれます。学習は、質・量の双方が相まって高まるものです。

私立高校入試までもうひと月もない時期です。しかし、自ら得ようとして身につけたものは、必ず入試で生かされるでしょう。このことは、これまでの幾多の受験生が証明してくれています。

【1月の入試関連日程】

- 1月 9日(土) 私立高校推薦入学試験
- 1月 15日(金)～21日(木) 私立高校一般入学試験
- 1月 19日(火)～26日(火) 私立高校一般入学試験合格発表

《中3生 冬期講習》

全13日(60.2時間) 12:15～16:55

- 県立・私立受験も視野に入れて5教科を徹底学習
- 入試に即した類題演習、総学習量・学習時間の確保
- 類題演習とその解説授業から、必要な知識の総まとめ・総復習

※ 講習初日(12/23)に、冬期講習・入試に向けた決起集会を行います。

三学期 中3生 土曜特別講座 県立入試特別講座

過去10年分の県立高校入試問題を

徹底演習・徹底解説!

◎開講日: 1/23・30・2/6・13・20

◎受講科目: 5教科(英・数・国・理・社)

◎受講時間: 12:30～15:30

※詳細は後日案内を配布いたします。

December 12月以降 予定*休講日

- 12/5日(土) 中3生月例テスト
- 6日(日) 休講日
- 13日(日) 休講日
- 20日(日) 休講日
- 22日(火) 休講日
- 23日(水) 冬期講習スタート
- 24日(木) 休講日
- 31日(木) 休講日/大晦日
- 1/1日(金) 休講日/元旦
- 7・8・9日 講習テスト日
- 10日(日) 休講日
- 11日(月) 3学期開講日/成人の日

※ 1月11日は祝日ですが、中3生のみ授業を行います。13:00～16:00

編集後記 後悔や反省とは無縁の人生を歩んでいるつもりであるが、時としてハッと気づかされたり、「ああ、そういうことだったのかあ…」とあまりにも時間がかかり過ぎた合点がいったりすることがままある。そんな時は平静を装いつつも、その実、心の中で大いに周章狼狽している。そしていつも思うのだが、開き直ることができたらどんなに楽だろう…。性分というのは中々変わらないものなのだろう。

自分だけは、そんな自分に一生付き合っていくてあげねば可哀想だと思い直す瞬間である。

編集 臥居猫